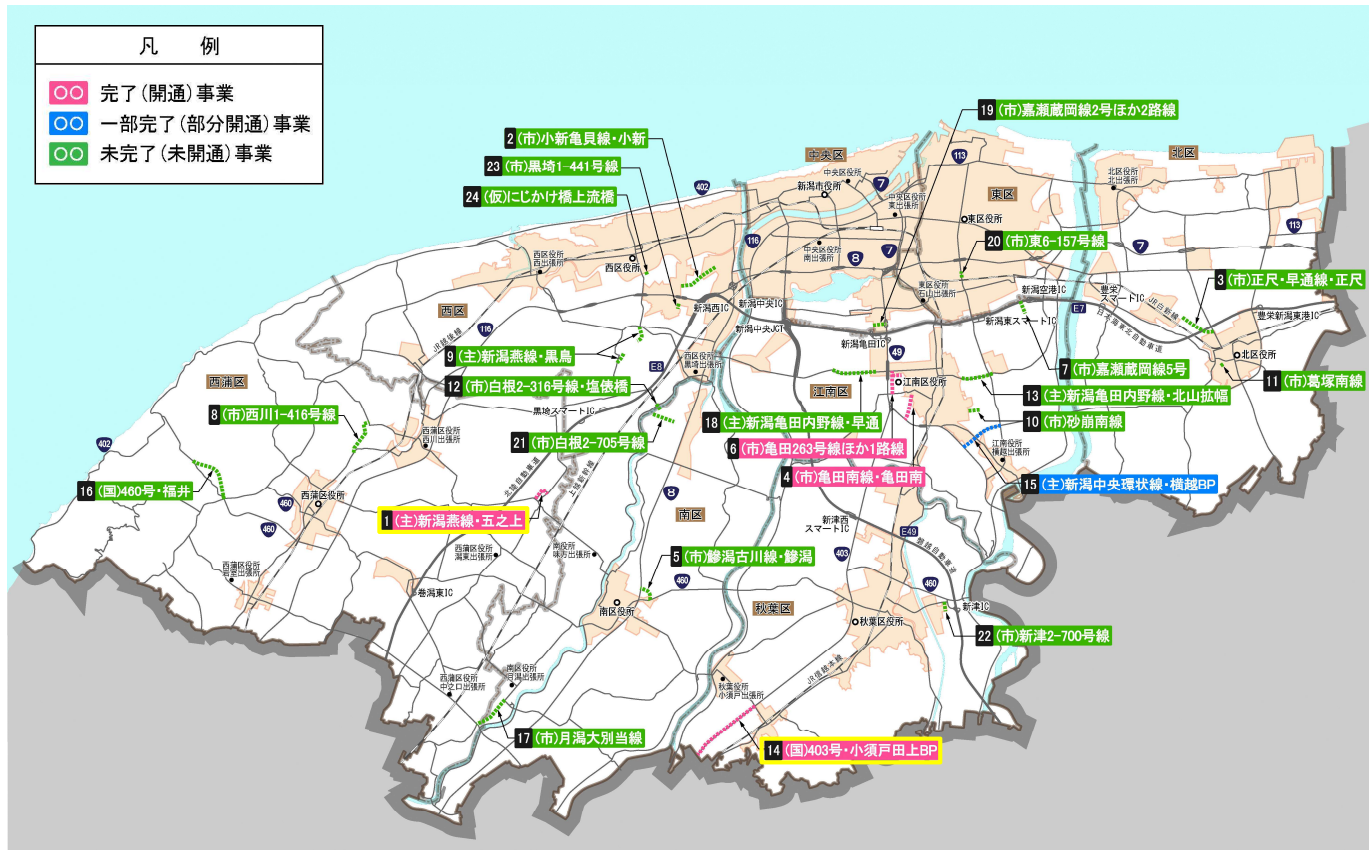


計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)					
	成果目標	定量的評価指標	現況値	中間値	目標値	実績値
◎計画期間：平成28年度～令和2年度(5年間)	◎地域の主要地点間を連絡する経路について、移動時間を32分から16分に短縮。	●主要地点間を連絡する経路について、移動時間を算出する。 Σ(主要地点間の道路延長/移動速度)×100	32分	—	16分	21分
◎計画の目標 ・住宅地における通過交通の排除や、通勤・通学・買い物・通院などの身近な生活を支える自動車及び歩行者交通の円滑な移動空間を確保することにより、生活環境と交通機能の一体的な向上を図る	◎地域の主要地点間を連絡する経路のうち、通過交通を排除するため住宅地内を通過する道路の割合を64%から16%に減少。	●主要地点間を連絡する経路のうち、住宅地を通過する割合(%) (Σ住宅地を通過する道路延長)/(Σ主要地点間の道路延長)×100	64%	—	16%	34%
◎総事業費：約77億円	◎地域の主要地点間を連絡する経路のうち、円滑な交通の妨げとなる狭あい区間の割合を29%から1%に減少。	●主要地点間を連絡する経路のうち、狭あい区間の割合(%) (Σ狭あい区間の道路延長)/(Σ主要地点間の道路延長)×100	29%	—	1%	21%
	◎地域の主要拠点間を連絡する経路のうち、歩行者や車いす利用者が円滑に移動できる道路の割合を29%から78%に拡大。	●主要地点間を連絡する経路のうち、歩行者や車いす利用者が円滑に移動できる道路の割合(%) (Σ有効幅員2.0m以上の歩道が整備されている道路延長)/(Σ主要地点間の道路延長)×100	29%	—	78%	61%



1 (主)新潟燕線・五之上



14 (国)403号小須戸田上バイパス



今後の方針等

◇ 通勤・通学・買い物・通院などの身近な生活や災害時の円滑な避難、救急・消防活動の実施、緊急物資の輸送などを支えるため、引き続き、道路網整備や安全な歩行者空間の確保を推進する。